※令和３年度以前入学生用

| 学校番号 | ４０７ |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | （選択）世界史Ｂ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 『高校世界史Ｂ　改訂版』　（山川出版社） | | | | | | |
| 副教材等 | プリント教材 | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代につながる過去の歴史的事象にまず興味・関心を持つ。
・歴史的事象を通じて、原因・経過・結果とつながっていく歴史的な法則性を学び取る。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の世界や日本のあり方を考える。

## ２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・１・２年で学んだ歴史的知識を基礎に、特別なテーマでの歴史学習や各地域の通史をもう一度学びなおす等、歴史的な法則性や現代の諸課題を歴史的な観点から考察する。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 各地域の通史を学び世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、課題追求に努めるとともに、国際社会の一員としての自覚を持ち、また、日本国民としての責務を果たそうとする。 | 現代の世界で生じる多様な課題を歴史的な観点から考察し、国際社会の実情や変化を踏まえ公正に判断して、歴史的事象の因果関係を適切に表現している。 | 各地域の通史を学び世界の歴史に関するグラフ・図表・史料などの諸資料から、情報を読み取ったりまとめたりしている。 | 各地域の通史を学び世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や歴史的な関連性や日本とのかかわりを理解し、それらの知識を定着させている。 |
| 評価方法 | 調べ学習・発表<br>レポート<br><br>〔主題学習〕<br>振り返りシート | 定期考査<br>プリント点検<br><br>〔主題学習〕<br>レポート | 定期考査<br>プリント点検<br><br>〔主題学習〕<br>レポート | 定期考査<br>プリント点検<br><br>〔主題学習〕<br>内容のまとまり |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 原始時代・中国の歴史・西アジアの歴史 | ・人類の誕生・文明の起源<br>・中国の歴史<br>・西アジアの歴史 | ○ | <br>○<br>○ | ○ | ○<br>○<br>○ | a:人類の誕生を科学的・歴史的に学習することへの興味・関心現代につながる生命の不思議や人類のこれからの役割への理解や思考に意欲的であるか。<br>b:中国 3000 年の歴史を学習し今までの中国と日本の関係やこれからの両国のありかたについて考える。<br>c:脳の進化から人類の発達を考える。<br>d:西アジアの歴史を学習し、現代のイスラム世界の成り立ちやこれからの日本とイスラム世界のありかたについて考える。 | 定期考査<br>ワークシート |
| 2学期 | ヨーロッパの歴史・アメリカの歴史 | ・世界の宗教<br>・ヨーロッパの文化史<br>・アメリカの歴史 | ○ | ○<br>○ | ○ | ○<br>○<br>○ | a:世界の宗教、特に３大世界宗教の成り立ち・教義・習俗等について学び、宗教とは何かについて考える。<br>b:ヨーロッパの文化史を学び、現代世界の中心となっているヨーロッパの思想・文化の成り立ち・影響力について考える。<br>C:ヨーロッパの文化史に関する絵画・彫刻・建築を資料として鑑賞する。<br>d:アメリカの歴史を学び特に。歴代大統領の人物像・政策・功績について学習する。また、20 世紀以降、世界の中心となったアメリカ合衆国と日本の関係、これからのあり方についても考える。 | 定期考査<br>ワークシート |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 調べ学習 | ・自分で国やテーマを選び学習する。<br>・学習したテーマを発表する。<br>・各自の発表を全員で学習しまた評価する。<br><br>〔主題学習〕<br>・課題の設定<br>・調査方法<br>・資料収集<br>・成果報告 | ○ | ○<br><br>○<br>○ | <br><br>○<br>○ | ○<br><br><br>○ | a:各国や各テーマへの興味・関心、調べ学習への意欲・態度<br>b:調べた内容を上手く表現できるか。<br>c:資料を上手く活用し客観的な内容になっているか。<br>d:調べ学習の内容が知識として定着しているか。歴史的な理解力となっているか。 | 定期考査<br>ワークシート<br>レポート |
| 3学期 | 現代の世界 | ・第二次世界大戦後のアジア<br>・ヨーロッパの統合<br>・社会主義世界の変容とグローバル化<br>・資本主義経済の行き詰まりと新しいシステムの模索 | <br><br>○ | ○<br>○ | ○<br><br><br>○ | <br>○<br><br>○ | a:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b:第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その因果関係を適切に表現できる。<br>c:ＧＤＰや経済成長のグラフから景気変動を考える。<br>d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な経済的な事象を現在の世界情勢と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート |
| | まとめ | ・1年間の学習をふりかえる | ○ | ○ | ○ | ○ | abcd:１年間の学習をふりかえり歴史の理解ができているか、歴史的な考え方が身についているか。 | |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。